

東海北陸

Branch Report Vol.80



RSアーキ 一級建築士事務所 四辻 靖信氏 8/5 輪島にて撮影

コストがわかれば 建築が見える!



公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ) from Toukai-hokuriku Branch
<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
 ☎(052) 264-0661(代) FAX(052) 264-0662

支部長挨拶	支部長 𨔵谷 将紀	1
2024 年度 東海北陸支部 定時総会報告		2
会員委員会・評価評定委員会だより	委員長 中 川 英 人	6
教育委員会だより	教育委員会 委員長 岩 田 清 逸	7
資格制度委員会だより	資格制度委員会 委員長 山 北 大 蔵	8
講習委員会だより	講習委員会 委員長 勝 野 徹	9
北陸支所便り～能登大震災によせて～	北陸支所長 高 島 義 昭	10
四方山座談会2	東海北陸支部 監事 山 田 治	12
積もる話 その22	支部会員 西田 彰	16
積算の誤解 あるある 第4話	作・画 積 ツトム	17
積算の誤解あるある；手拾い 思い込み	Mr.見積	18
CPD お忘れじゃないですか？		19
賛助会員名簿 建築積算士補教育認定校		20
JAQS 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 東海支部		21
U's Factory		22
協栄産業株式会社		24
TOMOデータサービス株式会社		25
暑中お見舞い申し上げます		26
編集後記		29
株式会社 大成出版社		30



【表紙の写真】

北陸支部の会員の方が撮ってこられた能登半島地震の爪跡が残る写真を目の当たりにして、きれいな新築物件を載せることに抵抗を感じ、この写真を使用させていただきました。

支部長挨拶



(公社)日本建築積算協会
東海北陸支部

支部長 棚谷 将紀

(株)棚谷建築積算事務所

社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部の支部長を受けさせていただき2年目に突入いたしました。1年目は右も左もわからない中で、少しでも会員の皆様の利益になるようにとの思いで積算協会での活動をおこなってきました。事務局局長も同時期に変わり同じ1年間をお互いわからないながらも支部を運営することが出来ました。まだまだできていないことも数多く、役員様・会員様にご迷惑をお掛けすることばかりなのですが、温かい目で見えて頂けると幸いです。

公益社団法人 日本建築積算協会が来年50周年を迎えます。1975年に東京にて社団法人 日本建築積算協会が設立され、その5年後に東海北陸支部が設立されました。50年前といえば私自身が誕生して数年なので積算協会の50年をここで書くことはできませんが、先達たちがさまざまな問題を解決しながら現在の「建築積算」といった業態が作り上げられたのだと思うと、建築積算を生業とする私としては感謝でしかありません。その感謝を形であらわすために支部長というお役を受けさせていただき、今までお世話になった方々や、今現在建築積算に関わっておられる方々、これから建築積算に興味をもつていただきたい若者に対して、今後も建築積算の周知徹底・地位向上に努めていけたらと思います。来年の7月18日(金)に東京の明治記念館にて公益社団法人 日本建築積算協会 創立50周年記念大会が行われます。基調講演やその他さまざまな行事などは周年記念委員会にて企画されていきます。とても興味深い記念大会になると思いますので、是非ともご参加をお願いいたします。

昨年度、当支部が力を入れて作った用途別坪単価事例資料(略称「用途別コスト」)がホームページにアップされました。会員サービスのページより「用途別コスト」にアクセスして頂くと、概要説明がQ A方式で記載されており、操作方法と「用途別コスト」のExcelデータがダウンロードできます。本来ならば建物の用途を選んで面積を記入すれば、統計で得られたコストが瞬時に出るページを作りたかったのですが、我々素人ではそのようなページ・仕組みを作ることが出来ず、プロに依頼するには予算が足りないので、現時点では現状の状態でご勘弁いただきたいと思います。今後も継続して情報収集してさらに精度の高い情報を皆様にお伝えしていけたらと思いますので、是非ご活用ください。

今年初めに発生した能登半島地震の記憶もまだ新しいですが、半年を過ぎてもなお被災地では今も不便な生活を余儀なくされている方々も多いとニュースで見ます。復興が進まない理由は多くあるとは思いますが、我々建築業界に携わる者たちとしては、皆様それぞれ思うところはあるかと思っています。当協会も加入している建築八団体の会議でも、災害に対して何が出来ていて何が出来ていないのかをそれぞれの協会にて洗い出し、今後起こりうるであろう災害に対して団体として協力できる体制を作っていく動きとなっています。公益社団法人 日本建築積算協会としては、東海北陸支部も本部と協力しまずは義援金を会員様からご協力いただき、228万円の義援金を集めることが出来ました。この義援金は被災された会員様の被害程度をお聞きして、被害程度・人数の割合にて分割しお渡ししました。

ご協力いただいた会員様、本当にありがとうございました。

2024 年度 東海北陸支部 定時総会報告

1. 日時 2024 年 4 月 26 日（金）17:00 ～ 17:45
2. 会場 TKP名古屋栄カンファレンスセンター
（名古屋市中区栄 3-2-3）
3. 出席者 本人出席者 31 名
委任状 236 通 計 267 名
4. 議事 17 時 00 分高島副支部長より、2024 年度支部定時総会の司会挨拶。

一、支部長挨拶

2023 年度より東海北陸支部の支部長という大役を受け、右も左もわからないまま 1 年が過ぎました。当支部も事務局長が同時に変わり、支部長の未熟さにて会員様にはご迷惑等お掛けしたことをお詫び申し上げます。1 年間支部長という役をやらせて頂いたことで、いろいろと理解できたこともあった 1 年でした。まだまだ不明点も多いので、今後も会員様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、なるべく少なくしていけるよう努力していきたいと思っています。

2024 年は正月早々能登半島地震に見舞われ、当協会の会員様にも被災に会われた方もおられました。当協会では被災された会員に対して義援金を募り、約 230 万円もの義援金のご協力を頂きました。本当にありがとうございます。一日でも早く被災された会員様の助けになれるよう、本部と協力して皆様からご協力頂いた義援金をお渡しできればと思います。

今後このような被災に対して、建築積算といった面で当協会も何か協力していけるよう、建築積算の認知・地位向上に積算協会として尽力できればと思いますので、今後も皆様のご協力をお願いいたします。

一、来賓ご挨拶

代表理事副会長 生島宣幸様よりご挨拶を頂戴致しました。

一、定足数の確認（伊藤事務局長より）

本日の総会の本人出席者 31 名、委任状による出席者数 236 名、合計 267 名です。

2024 年 4 月 1 日現在の議決権を持つ正会員数 424 名に対し、過半数以上の出席がありますので本総会に必要な定足数を満たしていることを報告。

一、議案審議

■第 1 号議案 2023 年度事業報告承認の件

岩田事業計画委員長から 2023 年度事業報告の説明があり、審議に入る。

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。特に発言がなく、満場の拍手で第 1 号議案を承認した。

■第 2 号議案 2023 年度収支決算及び監査報告承認の件

伊藤事務局長から 2023 年度収支決算報告書の説明があり、審議に入る。

西田彰監事から収支はいずれも正確であると報告があった。議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。特に発言がなく、満場の拍手で第 2 号議案を承認した。

■報告事項 1 2024 年度事業計画に関する件

岩田事業計画委員長から 2024 年度事業計画の説明があった。

議案審議・報告事項が無事終了し、議長退席。

■報告事項 2 2024 年度収支予算に関する件

伊藤事務局長から 2024 年度収支予算の説明があった。

議案審議・報告事項が無事終了し、議長退席。



2023 年度 収支決算報告

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人材育成及び 認定事業	1,710,000	1,488,592	-221,408
社会人教育収入	1,710,000	1,488,592	-221,408
調査研究及び 情報発信事業	659,000	1,112,783	453,783
会誌発行収入	410,000	617,000	207,100
書籍出版収入	249,000	495,683	246,683
評価評定及び 相談事業	1,000,000	0	-1,000,000
その他	362,000	171,978	-190,022
支部運営金	7,215,000	7,189,000	-26,000
一般運営金収益	6,715,000	6,689,000	-26,000
補助金収益	500,000	550,000	0
当 期 収 入 計	10,946,000	9,962,353	-983,647
前期繰越収支差額	8,517,676	8,517,676	0
収 入 合 計	19,463,676	18,480,029	-983,647

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
事業費	3,877,000	2,498,119	-1,378,881
人材育成事業費	2,081,000	1,509,391	-571,609
調査研究事業費	1,086,000	988,728	-97,272
評価評定事業支出	710,000	0	710,000
管理費	8,782,000	8,404,100	-377,900
当 期 支 出 計	12,659,000	10,902,219	-1,756,781
当 期 収 支 差 額	-1,713,000	-939,866	773,134
当期繰越収支差額	6,804,676	7,577,810	773,134

2024 年度 事業計画

I. 支部事業活動方針

新型コロナウイルス感染症の位置づけが昨年の 5 月に 5 類となり、コロナ前の日常を取り戻しつつあります。その様な中、今まで対面が難しかった支部事業活動も対面が可能になってきましたので、各委員にて精査しながら対面方式と WEB を併用した支部事業活動を効率よく運営してまいります。

また引き続き若手の会員・積算資格者の皆様がこの業界で希望を持って活躍出来る様に支援することが使命と考え、以下の施策を粛々と進めてまいります。

- ①積算関連資格の重要性の社会的認知と活用についての周辺整備
 - ・本部と連携して積算資格の必要な業界へも積極的に PR 活動を展開する。
- ②非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
 - ・支部のホームページを閲覧してもらえる様な魅力ある誘導活動を実施する。
- ③地域に根ざした会員サービスの向上
 - ・地方の職場や家庭であっても WEB を活用することで会員サービスが平等に行き渡る様にする。(紙面の支部報をメールマガジン化への検討)
- ④地域での若手人材の育成と資格者への新しい知識修得支援
 - ・引き続き講習会が対面でも WEB でも開催できるようにプログラムを充実させる。
 - ・どこにいてもどんな時間帯であろうとも知識が吸収できる様に支援する。例えば WEB 用の講習会を短時間に区切り繰り返し聴講できる様な配信方法を検討する。
- ⑤ワーキンググループ (本年のチャレンジ制度)

- ・公共建築数量積算基準にて木躯体(軸組構法)追加による講習会資料の作成及び実施
- ・昨年度までのチャレンジ事業(用途別コスト)の継続

II. 支部委員会活動

◇事業計画委員会

- ①会員増加を目指すべく積算協会の価値の見える化を図る。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③多様性に配慮した事務局環境の整備を図る。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員の増加を図る。
- ②会員サービスの向上を図る。情報提供・親睦事業など。
- ③建築コスト管理士の活躍の場を、協会専任講師として養成を図る。

◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇講習委員会

- ①各講習会をウェビナー形式で開催する。(対面講習会も模索)
- ②北陸支所・地域委員会が実施する講習会(対面講習会)を支援する。
- ③各会社・官庁へ講師を派遣する出張講習会(対面講習会)に参画する。
- ④各講師が作り上げたウェビナー対応資料(録画資料)の有効な活用方法を研究する
- ⑤初級者向け「鉄筋拾い」と「鉄骨の拾い」に特化した録画配信をする。
- ⑥「企画・基本計画段階の建設費算出」のICT化を研究する。

◇教育委員会

- ①新規講座開設校の開拓(問題点・改善点)、環境整備。(指導要項、柔軟な授業編成)
- ②講師交流会による学校との連携強化。(内容、講習動画活用、方法、開催時期など検討)
- ③講師の確保および育成体制の検討・実施(講習事例動画の活用、講師育成方法の検討)
- ④認定校用補助教材整備(オンライン対応検討含む)、授業・資格試験オンライン化検討。

◇資格制度委員会

- ①本部が実施する建築積算士試験、建築コスト管理士試験を支援する。

・建築積算士一次試験(学科)

2024年10月27日(日)

名古屋会場：TKP名古屋カンファレンスセンター

・建築積算士二次試験(実技)

2025年1月26日(日)

名古屋会場：TKP名古屋カンファレンスセンター

金沢会場：TKP金沢カンファレンスセンター

・建築コスト管理士試験

2024年10月27日(日)

名古屋会場：TKP名古屋カンファレンスセンター

- ② 建築コスト管理士のCPD登録の促進と支援を行う。

◇評価評定委員会

評価評定システムの充実と評価評定制度の活用を広めるための活動をする。

◇情報化委員会

- ①「用途別坪単価事例資料」(通称:用途別コスト)の整備の継続 年に3回開催(5月、9月、2月)し、さらなる情報収集を行う。
- ・2023年同様に各自治体の入札情報サービスからの落札情報を収集する(目標は100件とする)。用途・構造などの条件による坪単価の抽出値を

散布図に表示する仕組み及び情報の充実を図る。また散布図の範囲が2023年度の結果から更なる精度UPにつながる作業を委員と考える。

- ② 知って得する鉄骨仮設・治具の講習会の開催。
・鉄骨足場の治具の紹介及び積算数量算出方法について、下記2項目について講習委員会と意見交換を行う。

- a. 12月に、講習会を開催して会員に興味を持ってもらえるレベルになるよう計画し、わかりやすい講習の仕方を検討する。
b. 自動化あるいは簡易な方法で拾いが出来るよう講習委員会と考える。

＜（旧）ホームページ委員会＞

- ① 広く一般の方にも「積算」を知っていただける場を提供する。
・ホームページのわかりやすさ、活用のしやすさを図る。
② 会員サービスの充実を図り、素早い情報公開を行う。

◇ペリカン推進委員会

- ① 官庁への訪問は各委員会の意見を反映することを前提に支部長に同行していただき、積算協会の告知活動を行う。
② 評価評定（応札金額に対する見積の内容の妥当性・官側の積算に対する悩み事への相談）を積算協会で行っていることを説明して利用してもらえるよう足を運ぶ。
③ 今後重要視される、病院、特別養護老人ホームなどを訪問する計画を立て各委員の地域に同行する。
④ ペリカン推進委員会に参加して他支部の状況を聞き、東海北陸支部ができる事から始める。

◇地域委員会

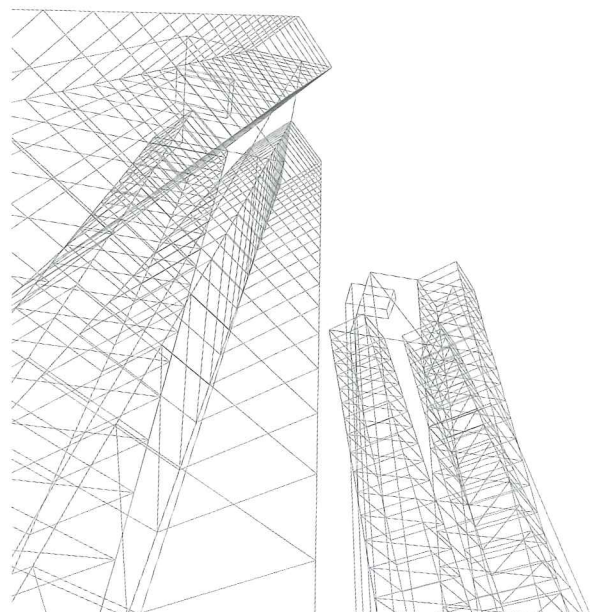
- ① 西濃地域に限定して勉強会を開催しているが、本年は岐阜市、各務原市、中濃地域を対象に

した会を開催して、会員に興味を持っていただけるよう努める。

- ② 積極的に地元の工業高校、短大をまわり、積算士及び士補の受講生勧誘を行って東海北陸支部の会員が増えるようにする。
③ 2024年1月1日、能登半島地震が発生し、北陸地域の支援及び交流会が開催できるよう情報を交換しながら検討していく。
④ 岐阜市、大垣市、各務原市を中心としたプロポーザル、PFI等の案件を調査し、工事現場の進捗状況を把握して見学会の申し込みを行い、新規会員及び賛助会員が増えるようにアピールをする。

◇北陸支所

- ① 建築コスト管理士のCPD登録の促進と支援を行う。
② 地域の建築関連団体と連携し、建築積算に関する講習会を開催する。
③ 積算士試験及び積算講習会の参加者に新規入会を促す活動を行い、新規会員に対し年に一、二度『積算に対しての疑問』をテーマとした交流会を行う。



会員委員会・評価評定委員会だより

委員長 中川 英人

今回はコンストラクションマネジメント（CM）と建築積算について少し触れてみたいと思います。CMは、建設プロジェクトの遂行に複雑かつ膨大なマネジメント業務が発生するなか、事業者、発注者の立場に立って品質管理、工程管理、コスト管理を中立的な立場で推進していくことを役割とした目的で、日本では30年程前からその必要性が語られるようになりました。当協会においては28年前、1996年にコストスクールが開校され、プロジェクトマネジメント、コンストラクションマネジメントの理論、業務体系、目的を学び、多くのプロフェッショナルを輩出して参りました。特に建設コストの透明性については、建設プロジェクトの要となることで、その技術者養成が急務となり、コストスクール開校から10年目に出来たのが建築コスト管理士資格であり、今では各プロポーザルの資格要項にも記載されるようになっています。一方日本コンストラクションマネジメント協会の活動においても、CMrという職能の確立、普及し、公共の福祉の増進に寄与することを目的とし、CM業務を発展、普及させ、社会の信頼を得る活動をされています。多岐に亘るマネジメント業務のうち、特に予算の作成、コスト評価、支払い管理などの要素は建築積算技術者、コスト管理士が専門的な立場で活躍でき、協同できるところであると思います。

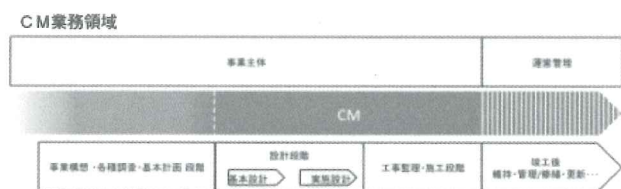


図4.10-1 CM業務の領域

（建築コスト管理士ガイドブックより）

現在の建設事情を見てもコストの爆上がりとなる環境が揃ってしまい、未曾有の建設コスト高となっています。デフレからの脱却を旗印に推し進めてきた国の施策に端を発し、設計労務単価引き上げ、働

き方改革、四週八休の推進、時間外労働罰則付き上限規則、建設技能労働者の高齢化と不足、また円安、半導体問題、原油高、輸送コストと原材料高騰、などが重なり、生産性と経済性がバランスを欠いた状況になりつつあり、複合ビル、事務所ビルでも坪単価が200万円を超えてしまうような案件が珍しくない状況となっておりました。

建設コストの評価評定でも標準単価を基準にして適正か否かのレベルで論じるのではなく、受注環境が整った状態にある施工会社が提示する金額が「今」の実態であり、それが予定価格内に嵌まるか否か、嵌まらなければ辞退、不調となっているのが現実で、大規模プロジェクトほど顕著に表れています。7月24日付建設経済新聞の「多発する入札不調の実態を探る!」の記事は今後の建設業の存続や、発注予算組み立ての在り方を考えさせられる内容でありました。積算に携わる者も無関心ではいられない問題であり、特に単価を扱う積算技術者は現状をよく知って単価を扱うのと、ただ規定通りの作業として積算をするのとでは作業プロセスや結果も大きく変わってくると思われます。積算業務の目的は正確な数量と適正単価による予定建設費の予測と、結果として発注者の事業目的を達成することが出来たかということにあると考えます。建設費が高騰している時期、公共事業において今の単価をどう反映するかは課題となっています。委員会としてはこのようなリアルな建築生産の現状を感じて頂こうと、CM協会東海支部の協力を得て勉強会を開催したいと考えています。また昨年好評であった見学会については、今回は築30年のビルがリニューアルされ、多くの人が見学に訪れているという環境配慮型オフィスビルを予定しています。詳細内容、開催時期は改めて案内致します。

教育委員会だより

委員長 岩田 清逸

2024年7月3日、20年ぶりに新紙幣が更新されたようです。私の手元にはまだ届いていませんけれど・・・。

さて、情報化委員会では引き続きコスト感覚の見える化として「用途別コスト」の整備を進めています。これは“坪いくら”の感覚の可視化であり一品生産品の建築物において共有するこの難しい「高いのか？安いのか？」の感覚の見える化になります。2024年度第1回を6月に開催し11人のメンバー全員で地道に収集し、現在のデータ数は138件となりました。

ホームページでデータを掲載中
積算協会東海北陸支部HPトップページ左メニューの下にある「会員サービス」から入ります。
あ、先に言っておきますが手作り感満載です！

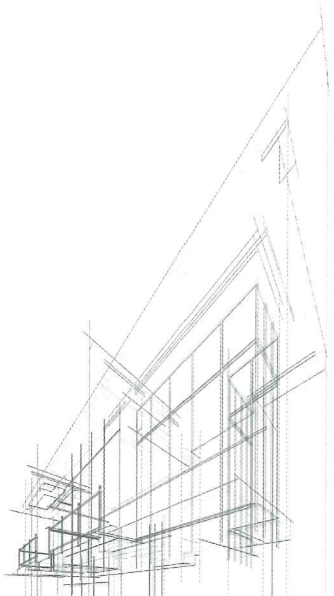
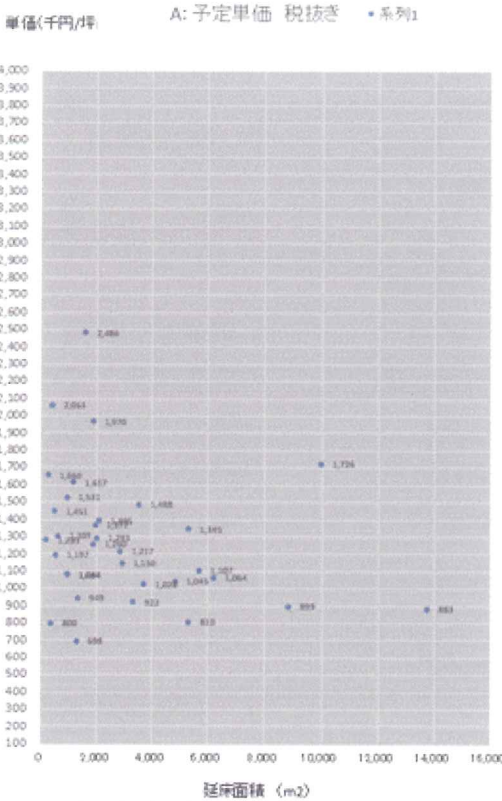


※会員ページのパスワード：member

選択条件

新築/解体	新築
用途(大分類)	学校
用途(中分類)	-
入札日(年)	-
入札日(月)	-
	-
	-
所在地1	-
所在地2	-
主構造	-
	-
地下階数	-
地上階数	-

結果グラフ



ドローン撮影 致します。

お気軽にお問い合わせください



ドローン 360°写真・動画撮影

ドローンで 360° 写真撮影をすれば、臨場感のある動画が撮影でき、再生時に見たい方向を見ることができます。



www.ymdp.jp



撮影・デザインから印刷・製本・Web作成etc
山田印刷所 Tel.0572-68-2992

資格制度委員会だより

資格制度委員会

委員長 山北 大蔵

暑中お見舞い申し上げます。

1月1日に発生した能登半島地震の影響が心配されましたが、北陸支所の皆様ならびに協会関係者の皆様方のご協力により、2023年度の建築積算士二次試験を1月末に実施する事が出来ました。

この度は誠にありがとうございました。

□建築積算士二次試験 2023年1月28日(日)

名古屋会場 ダイテックサカエ

受験者 103名 合格者 68名

金沢会場 金沢市異業種交流研修会館

受験者 22名 合格者 12名

東海北陸支部の建築積算士二次試験の合格率は64%、全国の合格者613名、合格率62.2%でした。

2024年度の試験予定のご案内

■建築積算士一次試験 2024年10月27日(日)

名古屋会場 TKP名古屋栄カンファレンスセンター

■建築コスト管理士試験 2024年10月27日(日)

名古屋会場 TKP名古屋栄カンファレンスセンター

■建築積算士二次試験 2025年1月26日(日)

名古屋会場 TKP名古屋栄カンファレンスセンター

金沢会場 TKP金沢カンファレンスセンター

建築積算士更新講習の受講について

建築積算士 更新講習の受講は、eラーニング又はDVD視聴による受講となっています。

どちらも受講が出来ない場合は、支部事務局までご相談ください。

※建築コスト管理士の方は自動更新となりますのでお申込みは不要です。

CPD 制度のご案内

2020年度に建築コスト管理士資格を取得された方は2025年3月までにCPD単位取得が必要となります。登録更新に必要な単位数は5年間で80単位です。

下記の単位取得例をご参照の上、規定単位数を取得されますようご案内申し上げます。

1 2020年度から2024年度は毎年16単位必要

① 会誌「建築と積算」CPD記事について学習内容を記す。 上限10単位/1年間

2 その他

① 当協会本・支部総会出席 3単位×2回

② 講習会等参加 1単位×6時間

③ 専門書購読 2単位×6冊

上限12単位/1年間

④ 他団体機関紙購読 4記事×1単位

上限4単位/1年間

継続能力開発(CPD)制度細則に必要履修単位の緩和措置が定められています。緩和措置を適用した場合の単位数は5年間で50単位です。

(履修単位の緩和を申請する場合は、登録有効期限の6か月前までに申請が必要になります。)

緩和措置適用の条件

1 建築積算士取得後20年を超える場合

2 1級建築士取得後25年を超える場合

CPD申請の詳細は、ホームページ(人材育成事業のCPD欄)をご参照ください。

<https://www.bsij.or.jp/>

講習委員会だより

講習委員会

委員長 勝 野 徹

【毎年開催している講習会の紹介です。】

1. 「建築積算入門」集中講座

対象：初心者、新入社員向け 受講方式：ZOOM

日時：5月（木曜日）10時～16時



2. 「建築数量積算基準」講習会

対象：中級者向け 受講方式：ZOOM

日時：6月（木曜日）10時～16時

テキスト：「建築数量積算基準・同解説」

（イラストを多く採用し解説しています。）



3. 「建築数量積算基準の木躯体」講習会

対象：中級者向け 受講方式：ZOOM

日時：7月（木曜日）10時～16時

テキスト：「建築数量積算基準・同解説」

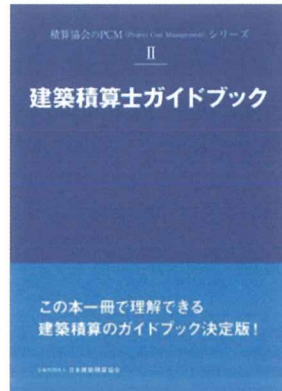
（基準の改定により「木躯体拾い」の章が追加されています。その部分の解説です。）

4. 「過去問による建築積算実技」講習会

対象：中級者（二次試受講者）、受講方式：ZOOM

日時：12月（土曜日）10時～16時

テキスト：「建築積算」



5-1. 「鉄筋数量算出のみ」講習会

5-2. 「鉄骨数量算出のみ」講習会

対象：初心者、新入社員向け 受講方式：ZOOM

（今後開催予定!）

6. 「積算学校」（本部主催）

対象：初心者、新入社員向け 受講方式：ZOOM

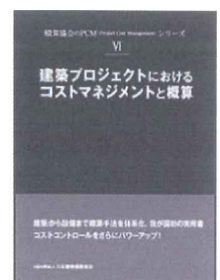
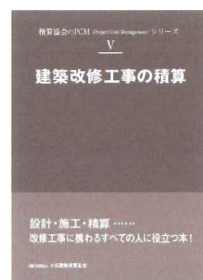
日時：平日夕方 2.5 時間 x 30 回程度

テキスト：「建築積算士ガイドブック」

◆以上東海北陸支部主催の講習会内容です。

◆以下のテキストによる講習会も検討していく予定です。

- ・「建築改修工事の積算」、
- ・「鉄骨工事ガイドブック」、
- ・「建築プロジェクトにおけるコストマネジメントと概算」



北陸支所便り～能登大震災によせて～

北陸支所長 高島 義昭

2024年1月1日PM4:10 輪島市の東北東30km付近でマグニチュード7.6の大地震が起き、輪島市、志賀町で震度7、奥能登地区で震度6強、金沢、加賀、福井、富山、新潟で震度5強～5と北陸全体に影響がでました。

輪島で最大4mの隆起によって漁港が全滅、朝市通りの大火災の発生、山の崩落による道路寸断による多くの集落の孤立。

珠洲沿岸に大津波が発生して集落の全壊。

和倉温泉では海側護岸の損壊等による多くの旅館の全壊・大規模半壊。

金沢では山側の住宅地の崩壊、海側では液状化により建物が傾斜し道路が波打ちました。

富山県では小矢部・高岡伏木・氷見地区の広範囲での液状化、道路の崩壊。

また新潟での液状化と今まで経験のしたことのない大災害が能登全体・北陸全体に襲ってきました。

大震災の後、多くの皆様よりご心配や激励をいただきここに紙面をお借りしてお礼を申し上げます。また、所属する日本建築積算協会より多くの義援金をいただき感謝しております。

～今、半年が過ぎようとしている中～

復興仮設住宅も4月以降多く完成し入居も始まり、また電気・水道・下水・道路のインフラの復旧がようやく目に見えてきたように思いますが奥能登地区ではまだ水道や下水（浄化槽が多い）が復旧してない所が多いようです。

応急危険度判定や罹災証明について個人住宅等は全国の役所の応援や支援でほぼ完了していますが建物の被災度区分判定や今後の店舗等のなりわいについての方向性が今後の問題です。

和倉温泉海側護岸の損壊に伴い被災した各旅館については護岸管理者が民有地・七尾市管理・石川県管理と混在している為、護岸復旧が急務です。北

陸整備局でようやく土質調査が6月24日より開始年内に工事開始と新聞に出ましたが旅館所有の護岸は負担が大きい為「公共復帰」し、国が復旧する提案がありますが、護岸ぎりぎりの建物が多く「海沿いの温泉」をアピールしていたことから今後の成り行きを注視しています。

私自身和倉温泉の旅館の被災度区分判定の依頼を受け調査にいきました。敷地内に建物をEXP/Jにて増築を何度も繰り返している旅館で1棟は傾き繋部分は崩落していますが、その他の棟が影響を全く受けていない状況の旅館で応急危険度判定では全壊扱いです。基礎と杭の調査は民間ではできないのですが、無事な棟を残し早く復旧したい思いを経営者から話を聞き復旧に向けて努力しているところです。



和倉温泉内公園



護岸



EXP/J 部



内部天井



内部床



護岸

各地で液状化による住宅被災が起きました。特に内灘地区は TV でも大きく取り上げられましたが、広範囲な影響の為まだまだ先が見えません。道路の復旧が少しずつ進んでいる程度です。私の友人宅も液状化により 2 m 隆起して傾斜して住めない状況で避難所にすぐ行きましたが、今度はあまりにも環境状況が悪く今はアパートに引越しました。今後中古住宅に移るよう手配しているとのこと。友人宅の近隣では 10 m 以上建物が移動した家屋がありそれを見てすごくショックを受けました。近年のべた基礎住宅への過信があったのではないのでしょうか。今後地域全体で地盤改良等地面から直す必要があります。

最近 国、県主導で「なりわい補助金」制度を設けています。「なりわい補助金」は全壊、大規模半壊のものに限ります。

建替え予定の建物で現状の建物を再建築する価格が補助金の額になる為現状の建物の見積が必要です。私の事務所でも七尾市・志賀町地区より何件か依頼が来ました。

ただ写真や平面等しかなく大変難儀しています。

大半が鉄骨造 2～3F 建てで恐らく 30 年以上前に建てた建物で外部は木下地の上ラスモルタル塗りシン吹付、内部は木下地の建物です。写真で見ると外壁が崩れて内部剥き出し状態で大変な状況です。

いろいろお話させてもらいましたが復興への道のりは始まったばかりです。会員の皆様の力をお借りしたく今後もよろしくお願いします。

四方山座談会 2

東海北陸支部 監事 山 田 治

・参加者の経歴の振り返り

【司会】ゼネコンOB

【ゼA】大手ゼネコン見積部所属

【ゼB】中堅ゼネコン作業所長経験者

【設計C】設計事務所で主に設計監理者

【設計D】設計事務所で主にコスト管理者

【積算E】大手積算事務所の営業所長

【積算F】地元積算事務所の若手所員

【司会】 前は建設業の残業上限規制についての話題が出始めた所で誌面の都合上終えていました。

今回も引き続きこの話題からお願いします。

【設計C】 かつて現場に常駐していた時の話なのですが、監理者である私が不在時には検査を頼まれると、どうしても日延べさせてもらっていました。工期が逼迫しているのに、申し訳なさで一杯でした。これからは業界全体が4週8休になれば、うまくいくような気がします。

【ゼA】 お客様を含めての業界活動にならないと、無理な発注は減らないと考えます。新社会人が発注側の企業に希望者が多いのもその辺りに原因があるのだと思います。

【設計D】 確かにお客様の協力がないと、良い設計も良い建物も出来ないと思います。BCS賞の神髄はお客様・設計者・施工者が三位一体となり、竣工時のままのたたずまいを維持できるかにあるのだと聞き及びます。

【積算F】 そうですね。私も良い建物作りの一員になりたいがためにこの業界を選んだのですから。

【ゼB】 この業界は50年経っても大した革新的な事はできていませんよ。確かに機械は大掛かりなもの

も増えていますが、例えばPC化ひとつ捉えても少しずつしか進歩をしていません。

なぜかと言えばコスパが悪いからです。安くないのは、一品受注産業のために絶対量が多くなく再現性が少ないからです。

【ゼA】 3Dプリンターで実証されているもののまだまだな感がありますね。

【設計C】 現場でよく足場で頭を打ち付けるのですがとにかく低い。今時高さ1.7mだと内法はさらに低くなりますからね。

【ゼA】 私は弊社で安全期間のキャンペーンで過去に足場は1.8mにと提案しましたが、時期尚早という事で却下された経験があります。

【ゼB】 今は次世代足場とかで1.9mの高さが出始めました。リース料金は高止まりのようではありますが。

【積算F】 IT産業のように先見性がないと駄目なのでしょうね。積算の手法においてもBIMでの積算はまだまだ先となるのでしょうか？

【設計D】 国交省の案件では、BIM積算試行版が開始されましたね。躯体と仕上の一部（外装面積物・内装は建具と間仕切）ですが、弾みがつけば良いですね。

【設計C】 現場での施工図ではBIMでの検討が多岐に渡っています。仮設・土工事・鉄骨納まり・設備関連貫通チェック・鉄筋の納まり等です。仕上においても活躍しつつあります。

【積算F】 便利になるのは当然歓迎なのですが基本

が疎かになるのが不安です。もっともっと現場を知り、経験を積みたいものです。

また積算の手順も変わってしまうのが不安といえ
ば不安です。

【司会】 色々なご意見がでましたが、結局の所生産性があがって残業時間を減らせる良い方策とは！何かありますか？

【ゼA】 それはもう早く物事が決定される事につきますと思います。ただその過程をどうするのかですね。当然お客様はより良いものを安く完成させたいと思っている。我々は少しでも生産性を上げたいので、出来るだけ施工上納まりが簡単で水漏れがないような納まりをお願いするわけですが、なかなかそうはいかない。設計者も他の同様な建物と差別化したりします。ですから検討時間が長引くわけです。

【設計D】 ですが、そのためのBIMでの検討ではないのですか。BIMでしっかり検討できておれば後戻りもなく、プラットフォーム化がはかれると思いますけど。

【設計C】 設計変更が、契約して現場が始まっても発生するのが日常茶飯事ですよね。

【ゼA】 見える化になることでかえって、決定事項が遅くなることもあります。何とかスマートになりませんか。

【ゼB】 4週8休が定着すれば工期もおのずと延びるわけです。全ての工事関係者全員が電車のように同時に運休すれば良いですが、恐らくまちまちの休みとなるでしょう。そうするとまた期中での検討時間が無駄に費やされて、結局は決定事項がずるずるといくような気がしてなりません。

【積算F】 自動車産業の生産ラインのように一斉に稼働して一斉に休止とする。品物も一切移動しない。

そうなれば数多の建設現場で働く皆が一斉に休まざるを得ません。私たち積算従事者も設計者も一斉に休みとなります。SNSでの連絡事項も一切禁止とします。

【設計C】 それもありだけど、割り切る事が大切です。川上で徹底的に作り込んで現場へいざ乗り込んだらライン産業のようにひたすら前へ前へと進み続ける体制を受注者のみならず、発注者にもそういうものだと思える仕組みにすべきです。意識改革も必要です。

【積算E】 そうだと思います。プレハブメーカーのように工場で大方設備も込みで組み込んで、大型トレーラーに乗せて現場で組み立てる工法を街中でよく見かけますが、それが全てにおいて出来るようになれば良いのでしょうか。

【設計D】 設計者のこだわりもありますし、なかなか難しいと思います。生産性ばかり重視した建物よりも、独創性のある建物にやはり惹かれるのでしょうから。根本的な解決策が必要になると思います。

【ゼB】 我々の業界は今まで品質が第一とうたいながら、実のところは工期を最優先としているのが現実です。請負契約ですから兎に角言われた期限を守り、信用をなくさずに引き渡す事に最重点をおいてきました。お客様も少しでも早く完成させてくれる所へ発注しようとしてきた。

色々な工法を提案してきたのもその現れであり、その結果がお互いの首を絞めてきたと感じます。

【ゼA】 これからは大手を振って適正工期と言えるわけです。スーパーゼネコンが旗振りとなり、建設業界が協力し合い機械化、ロボット化、無人化へ開発費を拠出しあって、人手不足を解消し始めました。少しずつですが着実に進んでいると思います。

【積算E】 工事期間は確保でき何となく人手不足の

解決策も軌道に乗っていくかのようなのですが前工程の設計期間はどのようなのでしょうか。

BIMが進化しているのでしょうか。積算従事者は従来通りの方法で積算をしていますか？

【設計C】 BIM化が進んだ事が生産性をすこぶる良くしたとは思えないですね。初期の検討で、設計者の欲望を満たすために種々の検討は遺憾なく発揮されていますが、生産性向上で早く設計行為が終えているかと言うとそうではないと感じています。組織設計者から個人での設計者まで裾野が広くまた高齢化が顕著です。調べたわけではないのですが、皆が皆BIM化についていけているとはとても思えません。

【積算E】 そうなのですよ。結局積算者にしわ寄せがきます。堂々巡りになってきましたね。

では事業計画～設計～工事まで全て社内で行うとしたらどのようなのでしょうか。うまくいくのでしょうか。

【ゼA】 マンションのように比較的わかりやすい形態でしたら現にうまくやられている所もありますが、それでも少しでも早く完成しようとなり、それなりに苦労が絶えないわけです。

自社で完結できる設計施工は良い面もありますが、それが甘えとなる場合もあります。

結局生産性が上がって残業が減るというのは、個人個人の勤務スタイルを変えるのだという意識付をする事。そしてそれぞれの会社組織が変化をし、いつまでも残業を強いられる会社は世間の非常識だと認識され、淘汰されていくべきだと思います。

【ゼB】 今まで、今日できる事は今日中にやる事が重要でしたが、これからは明日で良いものは明日にするというような切り替えも大切だという事になりますね。

【積算E】 昔はこうだったと言っではいけないですね。我々は社会の体制に乗り遅れないようにすべきなのですね。

【司会】 意識付が一番効果ありそうですが、今一これといった具体策はなさそうですね。

それでも我々は建設業に身を置いているのですから、人離れを防ぐためにも努力すべきだと思います。皆様の会社ではどのような対策を打たれているのでしょうか。

【積算E】 社内教育を充実させて、同期同士の協力で孤立せぬようにしています。今見ていますとその繋がりが絆となって良い方向へ向かっています。さらに仕事を頂くゼネコンさんと一緒になって定期的に現場見学会を開いてもらっています。

【ゼB】 それは良いですね。弊社でも若手中心に自社ビルの見学会をしています。施工管理に入ってもらうわけですから、品質と安全面について、良い点、悪い点をあげて、自分ならばどう管理するかを主眼にレポートを作成してもらいます。記載は自由ですから、各人の性格がよく表れ、共感することも多々あります。

【設計D】 設計事務所ですから、なかなかコスト管理だけを教育するカリキュラムがないので、自己流で指導するわけですが、ほぼマンツーマンでします。後釜に適任者を探していますが、難しいですね。

【設計C】 そもそも最近は中小の設計事務所へは希望者が少なく定着率も悪いです。何とか残ってもらおうと、一定の期間の子には、建築士の資格をとるべく援助もしています。時間と資金面からサポートして何とか一人前に育つようにしています。我々が苦手なAI、BIM化に向けた布石をしています。

【積算F】 私は精一杯努力をして積算士の資格を取りたいです。できるだけ先輩諸氏を掴まえて教えを乞うようにしています。聞きかじりでも、覚えた事を忘れないようにいつもメモ帳を用意し何度も見直すことを心掛けています。

【ゼA】最近の子はドライというか割り切りが早いというか、これからっていう時にスパット辞めてしまします。教育を受けさせて戦力になるや否やですから会社にとっては痛手となります。就職情報CMが氾濫しすぎているのがデメリットに働いていますね。

優秀な子を早く囲い込むのも良いのですが、本人とのミスマッチを防ぐ事に重点を置くべきかと思えます。インターン期間を増やし建設請負業とは何たるかを教えるべきです。

発注者側の方がどうも楽ができると誤解をしています。どこでもそれなりの苦労はついて回ることもしっかりその期間に教えるべきです。

【ゼB】各社とも自社の協力会社の会をメインとして、職人になるべくPR会や施工体験を出前講座として赴き、戦力になってもらおうと努力されています。大学生であれ高校生であれ、真の中味を十分に味わえる経験をさせるのが必要なのですね。昔ならば石の上にも3年とかで、とにかく我慢をさせましたが、今は通用しないのですね。

【積算F】私の場合も出前講座的なPRがありました、何をしたいのかが分からない時期でしたから、何となくで終わってしまいました。

ただ自分からはだも大きくなくて職人さんには不向きだなと考えていました。積算の授業があり、そちらの方が合っていると考えた次第です。しかし本当は何でも経験したかったので、当初はゼネコンを希望したのですが、どこも概ね施工管理とありましたので積算事務所にしました。新規採用での積算だけの募集は皆無でしたから今の事務所に落ち着きました。

【設計C】私はどうしても設計がやりたくて、幼い時から希望でもありましたから迷わずに設計事務所を目指しました。今のように情報が多いわけでもなく、住宅の設計をとにかくやりたかったのです。結局適正というものは、初めから分かるものではなくて、何

十年と経験してやっと天職と言えるものができると思います。

好きこそものの上手なれではありませんが、人手不足なのは、『魅力が減った事、魅力が十分に伝わらない事、そしてその魅力を見いだす機会が少ない事』ではないでしょうか。世知辛い世の中にあっては、思う存分やりたいことが実現できないからです。余裕が欲しいですね。

【設計D】皆さんの思いがよく伝わります。私もこの業界全体にゆとりがないと感じます。

昔の建物には今よりもっと遊び心が合ったように思えます。細部へのこだわり、割付、納まりにおいて、見過ごしてしまいそうな所にも気を使っています。今のものとは雲泥の差があります。ゆとりがあったのだと思います。

【ゼB】なるほどね。工期第一ではなくて、特に品質最優先、そのためには安全第一で作業を進めることなのですね。余裕を見せていないので、魅力を感じず人が集まってこないのですね。それでも我々はこの器のなかで、頑張り続けるしかないのですね。

今日は参加してよかったです。

【積算E】やっぱり魅力がないと駄目なのですね。人それぞれ生き甲斐が違いますが、なんとなく理解はできました。

【司会】四方山座談会と言いながら、まさに旬な話題と建設業として危惧していることの本質（キーワード）が浮かび上がった様です。

本日は皆さま本当に長時間ありがとうございました。機会があればまた集まりましょう。

*** お わ り ***

※以上多分そうであろう仮想座談会でした※

「積もる話」その22

支部会員 西 田 彰

暑い！言いたくなくとも、ついつい口から出る。空の半分が太陽のような気がする。暑いはずだ。愚痴っても仕方がないので2024年の夏の話を始めます。

そんな夏の朝でも寝覚めが良いと何だか今日一日がうまくいくような気がする。このところ朝はスッキリ起きられる。なぜならば、2年程前にマツコ・デラックスの言うヤ〇〇ト1000を始めたのだ。半信半疑、自分にはフラシーボ効果と言いついて聞かせている。やめたら寝起きが悪くなるかもしれないと思うとやめられない。悩む小市民。

早起きは三文の徳というが、やはり良いことがある。私は、夜はテレビをつけっぱなしで寝ている。音が無いとダメなのだ。日曜日の夜は番組が中止になるのでラジオをつけている。

慣れると不思議なもので、朝4時になると決まって目が覚める。幸せな一日の始まりなのだ。女子アナが笑顔で「おはようございます」「お目覚めはいかがですか」なんて挨拶をしてくれる。頼みもしないのに。可愛い、きれい、清々しい。(決してセクハラではない個人的意見)チャンネルを切り替えると、またまた違う女子アナが挨拶をしてくれる。懲りずに、またまた切り替える。

私は信じてはないが・・・「星座占い」が始まる。これがまたテレビ局ごとに順位が違うのだ。どれを信じればよいのだろうか。信じてはいないといえども自分の星座が一番悪かったりしたときには小市民の私は一日中落ち込むのである。だから途中で切り替えることにしている。切り替えたら「今日のワーストは・・・」なんて自分の星座に出くわしたときには最悪である。出勤途中に犬のウンコでも踏むのではないかと思う。ラッキーアイテムがあって、先日などは「ざるそば」とか・・・占星術は古代バビロニアの起源のもので、何故ラッキーアイテムが「ざるそば」なのか理解できない。お遊びとみればいいのでしょうかね。

欠かせないのが「大谷翔平ニュース」だ。ホームランの朝などは一日がルンルンで始まり、不振が続くと「どうしたのかな」と心配をする。家族や仕事の心配さえしたことがないのに。「大谷さんは必ずホームランを打つ」などと勝手な思い込みで見ているが、大谷さんにしてみれば「小さな親切、大きなお世話」だろう。やはりスポーツの世界は必ず1位でなければならない。2位ではダメであって油断したら3位に転落する。がんばれ大谷！

気分の良い朝に値上げラッシュのニュースはうんざり。給与が上がれば何の問題もないのだが、実質賃金はずっとマイナスをたどっている。

バブル期のころは積算業界もずいぶん恩恵を受けた。給与はこれでもかというほど上がり、臨時賞与もあった。株を買えば上がる。銀行入れとけば10年で倍になった。これで宝くじでも当たったときには大変だ。いくら使っても減らないのである。ただこれは一瞬の事で、泡(バブル)と消えた。

ラーメンが1000円を超えたのには驚いた。付加価値を加えて単価を高くしているようにも思えるが・・・何とも言えない。学生のころだが某百貨店でアルバイトをしていたとき屋上に「寿がきや」があった。ラーメン1杯が100円、時給が100円の時代である。1時間の労働で1杯のラーメン。現在の時給を考えるとラーメン1杯が1000円以上でもおかしくはない。

積算料金はなかなか上がっていないようだ。料率は改善されているものの、今でも平成2年度価格が生きている事務所もある。我々もラーメン屋のように付加価値をつけて単価を上げられるような努力をしたいものだ。一杯1000円以上でも430円のラーメン以上に満足していただければ良いのであって「下請けからの脱却、協力会社への成長」を願っています。

積算のあつあつ誤解

第4話（前編）積ツトム



【埋戻し土：A種の場合】				【埋戻し土：B種の場合】			
名称（摘要）	数量	単価	金額	名称（摘要）	数量	単価	金額
根切り（つぼ掘り）	5,000 m ³	600	3,000,000 円	根切り（つぼ掘り）	5,000 m ³	600	3,000,000 円
埋戻し	3,000 m ³	4,000	12,000,000 円	埋戻し	3,000 m ³	800	2,400,000 円
A種（山砂の類）				B種（場内仮置）			
発生土運搬	5,000 m ³	3,500	17,500,000 円	発生土運搬	2,000 m ³	3,500	7,000,000 円
合計			32,500,000 円	合計			12,400,000 円

差額 20,100,000 円

俺が
埋戻し土の
扱いを
A種に
した。

第一：
あの敷地に
3000m²の
土を置く空間が
あるのか？



【訓】

たとえ自信があっても
設計者とのコミュニケーションを
大切にしよう



積算の誤解あるある；手拾い

Mr. 見積

積算は今では当然ソフトを利用して行っています。我々先人は手積算をして手計算で集計をしていましたから、積算をする事を『拾うといい、積算ミスは落とすと言います』

まさにお金を拾う、落とすことを表現しています。慎重にしないとコスト不足になるよと戒めていたように思いました。

見積書を作成するのも手書きでしたから、皆さん本当に綺麗な字を書かれました。記入に時間もありましたから、記入しながら、常に振り返りチェックができていました。数量の桁間違い、単価の桁間違い、ton単価なのかkg単価なのかをきちんと見直しますから、ミスは非常に少なくて済んでいました。

現在はどうかといいますと、以上のようなミスが結構起こります。やっぱり自分で記入せずに、キーボードを打っていますと間違いが発生し易いものです。

もうひとつのデメリットは、自分で積算していないので、数量ミスとかVE算出の数量等をピックアップできない事です。実際にあった情けないお話ですが、基礎工事の梁主筋の本数が一部変わりました。リストで変更の梁のみを読み取り基礎伏せ図で長さを算出すればものの数十分で変更長さがでるのに、積算担当者が2日は見て欲しいと言いました。

なぜなのか問うと、彼は手拾い経験が少なく、再度梁リストを電算に流そうとした訳です。とても正確で集計結果も綺麗に出てきますが、時間がかかります。

何が今一番重要なのかを分かっていないと、こうなります。正確性よりスピードが求められている時の対応としてはNGです。今はどれくらいの変更金額になるのかを早く知りたいのです。皆さん積算の手拾いも覚えましょう。

『手拾い』とは、なんて暖かく響きの良い言葉なのでしょう。

積算の誤解あるある；思い込み

Mr. 見積

外部の積算担当者が思い込みで間違えたというお話です。外部の仕上積算担当者は、内部の積算をマスターしてから外部の積算に移っていくのが通常です。かなり仕上積算には慣れてきているはずですが。特記仕様書も仕上表も詳細図のどこに記載されているかも十分理解出来て、積算スピードも上がってきた頃です。

設計図の記載方法として、特記なき限りは、〇〇〇とするがあります。積算者はその文言に非常に敬意を表します。頭に叩き込んだ結果、思い込みが激しくなります。

その建物は各階に大屋根とか小屋根が点在していました。たまたま外部仕上表に、堅樋は特記なき限り 100 φとする記載がありました。当然堅樋経路など外部から見える立面図にしか表現されておらず、立面図での凡例は堅樋とあるのみでした。大屋根は屋根面積、RDの員数からしても100 φで良さそうでしたが、RDは125 φと屋上図面に記載がありました。他の階のRDは100 φと記載がありました。積算者は当然の如く食い違いがないので、そのまま積算をしました。

明細書へ記載した後にチェックした所、RD 125 φの相手である125 φの堅樋がありません。設計者に確認をとると、さも当たり前のように「特記なき限り堅樋は 100 φですから」の返答でした。稀に絞り込んで堅樋につなぐ事もあると聞きますが、通常はしません。セットものですから、いずれが正しいのかの質疑をするべきでした。勝手に解釈を（この場合は思い込みです）してはいけないというお話でした。

設計者としては、そんな事常識だから正しく判断してよと思うでしょうが、間違っていたら積算者の責任となります。だから質疑をするのです。笑い話で終わったので良かったですが、以後はご注意ください！

CPD

お忘れじゃないですか？

**5年毎の建築コスト管理士資格の更新の際は、
CPD80単位が必要です。**

CPD単位の取得には、

- ・ 講習会や研修会等認定プログラムへの参加
- ・ 講師、論文発表等、技術や知識の提供
- ・ 会誌「建築と積算」のCPD認定記事による学習
- ・ 専門図書による自己学習

等、様々な方法が可能です。

一度ご自身の更新のタイミングやCPD取得状況をお確かめください。

詳しくは協会HPをご覧ください。

**技術も知識もCPDも
日々の積み重ねが重要です！**

賛助会員名簿

東海北陸支部

会社名	住 所	電 話	ホームページ
(株) 飯島建築事務所	名古屋市東区葵 1 - 25 - 1 ニッシンビル 204 号室	052-937-7451	http://www.iiijima-sd.co.jp/
(株) 伊藤建築設計事務所	名古屋市中区丸の内 1 - 15 - 15	052-222-8611	http://www.ito-aei.co.jp/
(株) エルエックス	岐阜市中鶉 3 - 98 - 2	058-273-4546	http://www.el-ex.co.jp/index.php
協栄産業 (株) 建設ソリューション事業部	東京都品川区東品川 4 - 12 - 6 品川シーサイドキャナルタワー	03-4241-8841	https://www.kyoei.co.jp/
(株) キング鈴井商会	名古屋市中村区野田町字中深 18 - 3	052-412-4112	http://www.kingsuzui.co.jp/
(株) 末永製作所	岐阜県揖斐郡揖斐川町房島 1822 - 3	0585-22-0778	http://www.suenaga-ss.co.jp/
セブン工業 (株)	岐阜県美濃加茂市牧野 1011	0574-28-7635	http://www.seven-gr.co.jp/
(職) 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター	静岡県富士宮市根原 492 - 8	0544-52-0968	http://www.fuji-kkc.ac.jp/
TOMOデータサービス (株)	大阪市北区天神橋 7 - 5 - 23	06-6351-8452	http://www.tomodata.co.jp/
トヨタ T & S 建設 (株)	名古屋市昭和区御器所通 3 - 23	052-735-3400	http://www.toyota-ts.co.jp/
(株) 藤尾建築構造設計事務所	名古屋市中区丸の内 1 - 13 - 11 ジャルダン桜橋 5 B	052-203-5857	http://www.fujio-se.jp/
ほそ川建設株式会社	金沢市示野町西 3 番地	076-267-8008	http://www.hosokawakensetsu.co.jp/
(株) U' s F a c t o r y	横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 横浜ビジネスパークイーストタワー 11 階	045-348-1561	https://us-factory.jp/
揖斐川工業株式会社	岐阜県大垣市万石 2 丁目 31 番	0584-81-6171	https://www.ibiko.co.jp/

建築積算士補教育認定校

東海北陸支部

校 名	学部・学科	所在地	ホームページ
学校法人 愛知産業大学	造形学部建築学科	岡崎市岡町原山 12 - 5	http://asu-g.net/univ/
愛知県立名古屋高等技術専門校	訓練課建築総合科	名古屋市北区安井 2 - 4 - 48	http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya
静岡県立島田工業高等学校	建築科	島田市阿知ヶ谷 201	http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimada-th/home.nsf/
静岡県立浜松工業高等学校	建築科	浜松市北区初生町 1150	http://www.hamako-ths.ed.jp/
椋山女学園大学	生活化学部生活環境デザイン学科	名古屋市千種区星が丘元町 71 - 3	http://www.sugiyama-u.ac.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 熱田校	建築科	名古屋市熱田区花表町 19 - 14	http://tpchs.denpa.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 金山校	建築科	名古屋市中区金山二丁目 7 - 19	http://www.tpc.ac.jp/
名古屋市立工芸高等学校	建築システム科	名古屋市東区芳野 2 - 7 - 51	http://www.kogei-th.nagoya-c.ed.jp/

▶ 事業内容

私達は、コスト管理の専門家集団として建築コストの透明性、公平性、妥当性を確保し、社会のニーズに積極的に対応しています。



コスト管理技術の開発技能の研鑽を活発に行い、建築プロジェクトの各分野においてプロフェッショナルとしての信頼を確立して行きます。

▶ 基本構想から解体・撤去まで、あらゆる段階でのサポートをいたします。



JAQS 東海支部会員名簿

事務所名	代表者	住 所
(株)棟建築企画 (東海支部 代表)	鳥居 哲夫	名古屋市中区栄 2-5-13 アイエスビル 2 階 Tel 052-602-9525 fax 052-602-9526
(株)アイピーエス	藤曲 充信	浜松市南区渡瀬町 1000-3 Tel 053-461-8866 fax 053-461-8854
(株)劦谷建築積算事務所	劦谷 将紀	名古屋市昭和区広小路本町 6-11-2 Tel 052-859-0686 fax 052-689-0687
(株)二葉積算 名古屋支社	中川 英人	名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 6 階 Tel 052-202-4800 fax 052-202-4802
明峰積算事務所	宮西 繁	石川県小松市松梨町 乙 8 7 番地 Tel 0761-23-0148 fax 0761-23-0148



AI Structure

SSEオプション
(部材自動配置)

PDF図面
をAI読取

Archicad
BI For AC®

部材
自動配置

部材
定義

Structural Symbol Extraction | プロジェクト : 2-2 (0005)

残り (231頁) 解析中 (0頁) (有効期限 : 2024-12-31) ログアウト

プロジェクト : 2-2 (0005)

SSEオプション

情報 ページ フロア AI解析

Z7 (6F床伏図) ↓

C:柱

部材 符号 構造 回転

☐	C	C5025	S	0.0
☐	C	C4522	S	0.0
☐	C	C2009	S	0.0
☐	C	C2009	S	0.0
☐	C	C2009	S	0.0
☐	C	C2009	S	0.0
☐	C	C5022	S	0.0
☐	C	C2009	S	0.0
☐	C	C2009	S	0.0
☐	C	C4522	S	0.0
☐	C	C4522	S	0.0
☐	C	C4522	S	0.0
☐	C	C4522	S	0.0

PDFやスキャナー読込の図面をAI解析

AI解析

BI For AC®

選択通り心・符号テキスト->SSC経...

◎ 基礎 交点検索範囲 1200.00

○ 柱 交点検索範囲 800.00

○ 大梁 符号下範囲 500.00

○ 小梁 符号中心下方作図 400.00

○ スラブ 梁影響範囲 4000.00

Cancel OK

Archicadに自動配置

商品構成

※別途BI Structure + BI For AC
の契約が必要となります

利用料 : AIS:15万円/年 + SSE :15万円/年
(初年度100P付与)

○300パッケージ : 45万円

○500パッケージ : 75万円

○1000パッケージ : 150万円

【販売・サポート】



TOMOデータサービス株式会社

〒530-0022 大阪市北区浪花町14-25 / 14-25 Naniwacho, Kita-ku, Osaka
TEL.06-4256-8481 FAX.06-4256-8482
URL:<http://www.tomodata.co.jp/>

【開発】



U's Factory

〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー5階
YBP East Tower.5F 134 Goudocho Hodogaya-ku, Yokohama, Kanagawa
TEL.045-348-1560 FAX.045-348-1561 URL:<http://us-factory.jp/>

建築積算見積システムの決定版

■ 建築積算システム

BIM対応

テレワーク対応

RC数量積算

NEW



拾い時間の短縮・省力化、複雑な建物形状にも柔軟に対応

- ・PDF取込機能で断面リストの簡易取込を実現！
- ・鉄骨積算機能を追加。鉄骨の主部材の拾いが行えます
- ・根切図の自動作図機能で土工の数量もすぐに算出

仕上数量積算

NEW



部屋形状作図と図面データ取込機能で積算時間を大幅削減

- ・PDF取込機能で、仕上リストの簡易取込を実現！
- ・PDFやCADデータを取込み、面積・長さを簡単に計測
- ・複数の下図ファイルを切り替えて同時拾いが可能

■ 見積作成システム

テレワーク対応

建築見積作成

NEW



自動値入や見積依頼など値入作業の効率化を実現

- ・建築積算システム「FKS」から数量を受け取り自動で工種別に展開
- ・他物件から同一明細を検索して単価の自動セットが可能
- ・充実したデータ互換を実現(Excel・BCS・RIBC等)

定額制

積算見積システム サブスクリプションサービス開始

定額制の
優れた
ポイント！

初期費用
が安い！

初月から定額料
金の月額費用で、
お手軽にご利用
頂けます。

最新版を
使い放題！

ソフトは常に最新バージョンを利用頂けます。
バージョンアップ費用
やサポート費用が無料！
常にサポートセンター
利用し放題！

クラウド
対応！

在宅勤務にも最適！
KYOEI クラウドサ
ービスを合わせて利
用すれば場所を気に
せず利用が出来ます。

BIMモデルで積算するワークフローをご提案します

COST-BIM プロジェクト

建築積算システム「FKS」の配置機能を使い BIMモデル作成の労力を大幅削減

基本モデル作成と概算を積算システムを入口として行うことを提案します。

BIMの入口は **FKS** から



FUJIKI
ARCHITECT OFFICE



KYOEI



KYOEI 協栄産業株式会社

建設事業部 建設第一部

東京

TEL 03-4241-8841

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-6

大阪

TEL 06-6451-9781

〒553-0003 大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング

E-mail fks@kyoei.co.jp URL <https://www.kyoei.co.jp/fks/>



積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series



TOMOデータサービス株式会社

〒530-0022 大阪市北区浪花町14-25

〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7

http://www.tomodata.co.jp / info@tomodata.co.jp



「見積」V^{five} 「あったらいいな」が標準装備でスマートなシステム

品名	単位	数量	単価	金額	備考
1. 内装工事					
1.1 内装仕上					
1.1.1 床	m ²	164	2,800	460,800	
1.1.2 壁	m ²	319	2,800	893,200	
1.1.3 天井	m ²	339	800	271,200	
1.1.4 窓	m ²	160	150,000	24,000,000	
1.1.5 扉	m ²	300	800	240,000	
1.1.6 柱	m ²	116	0	0	
1.1.7 間接照明	m ²	374	0	0	
1.1.8 電気配線	m ²	111	3,600	400,000	
1.1.9 電気配線	m ²	203	800	162,400	
1.1.10 電気配線	m ²	241	2,800	674,800	
1.1.11 電気配線	m ²	149	2,800	417,200	
1.1.12 電気配線	m ²			476,400	
1.1.13 電気配線	m ²			476,400	
1.1.14 電気配線	m ²			476,400	
1.1.15 電気配線	m ²			476,400	
1.1.16 電気配線	m ²			476,400	
1.1.17 電気配線	m ²			476,400	
1.1.18 電気配線	m ²			476,400	
1.1.19 電気配線	m ²			476,400	
1.1.20 電気配線	m ²			476,400	
1.1.21 電気配線	m ²			476,400	
1.1.22 電気配線	m ²			476,400	
1.1.23 電気配線	m ²			476,400	
1.1.24 電気配線	m ²			476,400	
1.1.25 電気配線	m ²			476,400	
1.1.26 電気配線	m ²			476,400	
1.1.27 電気配線	m ²			476,400	
1.1.28 電気配線	m ²			476,400	
1.1.29 電気配線	m ²			476,400	
1.1.30 電気配線	m ²			476,400	
1.1.31 電気配線	m ²			476,400	
1.1.32 電気配線	m ²			476,400	
1.1.33 電気配線	m ²			476,400	
1.1.34 電気配線	m ²			476,400	
1.1.35 電気配線	m ²			476,400	
1.1.36 電気配線	m ²			476,400	
1.1.37 電気配線	m ²			476,400	
1.1.38 電気配線	m ²			476,400	
1.1.39 電気配線	m ²			476,400	
1.1.40 電気配線	m ²			476,400	
1.1.41 電気配線	m ²			476,400	
1.1.42 電気配線	m ²			476,400	
1.1.43 電気配線	m ²			476,400	
1.1.44 電気配線	m ²			476,400	
1.1.45 電気配線	m ²			476,400	
1.1.46 電気配線	m ²			476,400	
1.1.47 電気配線	m ²			476,400	
1.1.48 電気配線	m ²			476,400	
1.1.49 電気配線	m ²			476,400	
1.1.50 電気配線	m ²			476,400	
1.1.51 電気配線	m ²			476,400	
1.1.52 電気配線	m ²			476,400	
1.1.53 電気配線	m ²			476,400	
1.1.54 電気配線	m ²			476,400	
1.1.55 電気配線	m ²			476,400	
1.1.56 電気配線	m ²			476,400	
1.1.57 電気配線	m ²			476,400	
1.1.58 電気配線	m ²			476,400	
1.1.59 電気配線	m ²			476,400	
1.1.60 電気配線	m ²			476,400	
1.1.61 電気配線	m ²			476,400	
1.1.62 電気配線	m ²			476,400	
1.1.63 電気配線	m ²			476,400	
1.1.64 電気配線	m ²			476,400	
1.1.65 電気配線	m ²			476,400	
1.1.66 電気配線	m ²			476,400	
1.1.67 電気配線	m ²			476,400	
1.1.68 電気配線	m ²			476,400	
1.1.69 電気配線	m ²			476,400	
1.1.70 電気配線	m ²			476,400	
1.1.71 電気配線	m ²			476,400	
1.1.72 電気配線	m ²			476,400	
1.1.73 電気配線	m ²			476,400	
1.1.74 電気配線	m ²			476,400	
1.1.75 電気配線	m ²			476,400	
1.1.76 電気配線	m ²			476,400	
1.1.77 電気配線	m ²			476,400	
1.1.78 電気配線	m ²			476,400	
1.1.79 電気配線	m ²			476,400	
1.1.80 電気配線	m ²			476,400	
1.1.81 電気配線	m ²			476,400	
1.1.82 電気配線	m ²			476,400	
1.1.83 電気配線	m ²			476,400	
1.1.84 電気配線	m ²			476,400	
1.1.85 電気配線	m ²			476,400	
1.1.86 電気配線	m ²			476,400	
1.1.87 電気配線	m ²			476,400	
1.1.88 電気配線	m ²			476,400	
1.1.89 電気配線	m ²			476,400	
1.1.90 電気配線	m ²			476,400	
1.1.91 電気配線	m ²			476,400	
1.1.92 電気配線	m ²			476,400	
1.1.93 電気配線	m ²			476,400	
1.1.94 電気配線	m ²			476,400	
1.1.95 電気配線	m ²			476,400	
1.1.96 電気配線	m ²			476,400	
1.1.97 電気配線	m ²			476,400	
1.1.98 電気配線	m ²			476,400	
1.1.99 電気配線	m ²			476,400	
1.1.100 電気配線	m ²			476,400	

試算ボックス				
	メモ	計算式	買数	数量
1	屋上	18.45 .50	2	18.45
2		18.45 .50	2	18.45
3				
4				
5				
6				



公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事
支部長 硯谷 将紀

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp
URL <http://bsi-th.052e.com/>



株式会社 棟 MUNE 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫
Tetsuo Torii

〒460-0008 名古屋市中区栄2-5-13 アイ・エスビル2階
TEL: 052-602-9525 (代) FAX: 052-602-9526
E-mail: tetsuo.torii@mune-kenchiku.co.jp
URL: <http://www.mune-kenchiku.co.jp>



代表取締役社長

藤 曲 充 信

株式会社 アイピーエス

本 社 〒435-0036 静岡県浜松市中央区渡瀬町1000-3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
福岡事務所 〒812-0877 福岡県福岡市博多区元町1-2-17 TEL.092-574-3641 FAX.092-574-3941
野田ビル2F
携帯 TEL.090-7956-5813 E-mail magari@ips-r.co.jp



株式会社 浦野設計

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS

代表取締役社長

浦 野 廣 高
URANO HIROTAKA
技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区八筋町90番地
TEL. 052-503-1211 FAX. 052-505-2712
E-mail: h-urano@urano-s.co.jp
東京本社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル2階
TEL. 03-5577-3370 FAX. 03-5280-5505



えにし
株式会社 縁
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長

船 岩 貴 志
FUNAIWA TAKASHI
建築積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-8561-4781
E-mail: funaiwa@enishi-cm.co.jp
URL: <https://www.enishi-cm.co.jp/>

BIM対応
建築積算システム



次世代見積書作成システム



マンション大規模修繕・改修専用
リニューアル用積算ソフト



国土交通省ガイドライン準拠
長期修繕計画表作成ソフト



KYOEI 協栄産業株式会社 建設営業部 建設営業課

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-6 品川シーサイドキャナルタワー

[TEL] 03-4241-8841
[FAX] 03-5479-3564
[URL] <https://www.kyoei.co.jp/fks>



ISO9001 20001686Q108
ISO14001 20001674UM
ISO27001 20001686ISM5



創業76周年

川 辺 建 設 株 式 有 限 公 司

川辺一級建築士事務所

本 社 名古屋市中区清水二丁目4番10号(川辺ビル)
〒462-0844 TEL<052>931-0181
FAX<052>931-0187
e-mail kawabe-k@gld.mmtr.or.jp
URL <https://kawabekensetsu.com>

代表取締役社長

川 辺 清 次 一級建築士、設備設計一級建築士
一級建築施工管理技士、宅建取引士



国豊積算株式会社

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945
支所: 東京・大阪・福岡・札幌
URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>



SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.

建築設計・監理

株式会社 鈴木一級建築士事務所

代表取締役 鈴木 保二

〒930-0076 富山市長柄町2丁目1番21号
TEL (076) 421-9118 FAX (076) 424-7454

株式会社 伊谷建築積算事務所

代表取締役 ^{とぎ} 研 ^や 谷 将 紀

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844
E-mail: masatoshi@togiya.net
携帯 090-7031-1993



高岡三四五建築研究所



株式会社 中野積算

名古屋支社

支社長 山 北 大 蔵

DAIZO YAMAKITA
建築積算士

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目29-10 錦通KDE #
支社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960
E-mail: d-yamakita@nakano-sekisan.co.jp
本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7 TEL 03(3392)6121
支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

IK 揖斐川工業株式会社

取締役社長

井 上 豊 秋

〒503-8552 岐阜県大垣市万石2丁目31番地
TEL (0584) 81-6171 FAX (0584) 81-2486
http://www.ibiko.co.jp E-mail: toyoaki@ibiko.co.jp

有限会社 高島建築積算事務所

所 長 高島義昭

一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2
TEL (076) 233-1330 FAX (076) 233-1340
携帯電話 090-3293-6920
E-mail: takasima@aqua.ocn.ne.jp

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会
富士教育訓練センター

会長 山梨 敏幸

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8
TEL 0544-52-0968 FAX 0544-52-1336
http://www.fuji-kkc.ac.jp



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 二葉積算

名古屋支社

取締役支社長

中 川 英 人

NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0008
名古屋市中区栄一丁目16番6号 名古屋三蔵ビル
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669
E-mail: nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL http://www.futaba-sekisan.co.jp
本社/東京 支社/名古屋・大阪・広島・福岡・札幌

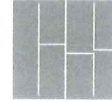


株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 小田 義彦

参 与 渡 邊 國 雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
<http://www.ito-aei.co.jp>



CHUKEN SEKKEI

代表取締役社長 岡 潤 和
取締役主幹 堀 田 淳 二

株式会社 中建設計

〒460-0008
名古屋市中区栄二丁目 2-12
NUP伏見ビル5F
TEL:052-222-7850
FAX:052-222-7856

株式会社 エテルノ 建築積算 eterno Building Surveyors

代表取締役

亀 田 大 輔

建築積算士 登録番号 71218

kameda@eterno-sekisan.com

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3 丁目 22-11
丸の内シンクビル 401 号
Phone 052-908-3488
Mobile 090-5451-9195



TOMOデータサービス株式会社

代表取締役

富 和 夫

本 社 〒530-0022 大阪市北区浪花町14-25 KRD天六ビル
TEL (06)4256-8481 FAX (06)4256-8482
携帯 080-9477-6138
E-mail: tomi@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
TEL (03)5816-7080 FAX (03)5816-7081



代表取締役
社長執行役員

木 下 浩 一

本 社 〒505-10016
岐阜県美濃加茂市牧野一〇〇六番地
TEL (0574)2187800

セブン工業株式会社

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
SDGsに貢献する企業を目指します。



建築物のコスト算出

株式会社 長谷川建築積算

代表取締役

長 谷 川 明 宏

(建築積算士 登録番号 70903)

〒514-2222 三重県津市豊が丘4丁目31-4
TEL (059)253-8646
FAX (059)253-3141
携 帯 090-5621-0314
WEB <https://www.kenchiku-sekisan.co.jp/>
MAIL hasegawa-akihiro@kenchiku-sekisan.co.jp

編集後記

能登半島地震から既に8か月ほど過ぎようとしていますが、先日の役員会でも高島北陸支所長から、復旧はまだまだとお聞きをしました。被災された皆様におかれましては、猛暑の中ご自愛いただきますとともに、1日も早い復旧をお祈りするばかりです。

さて、駆け出しのころ、計画案の説明会で「ところで、この建物いくらかかるの」と言われ返事に窮しているとき、すかさず先輩が「凡そ坪〇〇万円くらいです」と助け船を出してくれたのを今でも鮮明に覚えています。自分もいつかこうなりたいなと羨ましく思ったものです。

この「坪いくら」(用途別コストと命名)は、いくつもの建物データの収集・分析に他なりません、それをより正確に誰でも使えるようにと、当支部では継続してデータの収集分析に努めているところです。(昨年度までのチャレンジ事業)

また、公共建築積算基準の木躯体(軸組工法)の講習会等にも力を入れており、“こんなものがあれば便利だな”をモットーに、引き続き皆様に有益となるような情報を提供してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員	担当役員	碓谷支部長
	委員長	堀田 淳二
	副委員長	鵜飼 洋行
	委員	加藤 一也
	委員	桑名 利男
	委員	高島 義昭
	委員	都築 修
	委員	西村 洋司
	委員	松本 利治
	委員	山田 貴
	事務局	伊藤事務局長

支部報 『東海北陸』 No.80

発行 公益社団法人 日本建築積算協会
東海北陸支部

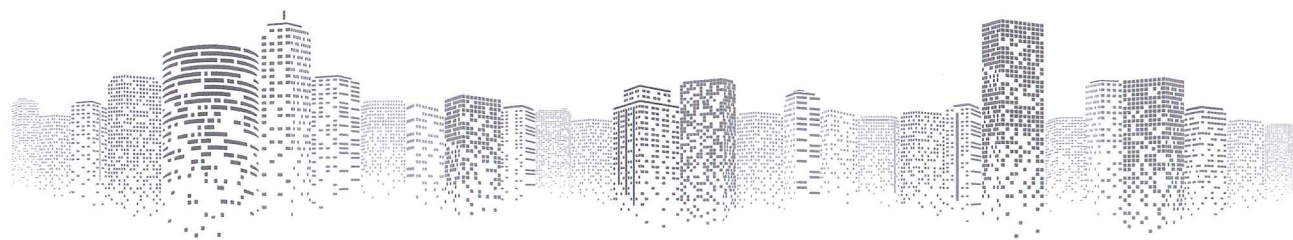
名古屋市中区栄四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2024年8月 吉日



令和5年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3499 ◎B5判

定価9,900円(税込)

国の統一基準である「公共建築工事積算基準」等の最新内容を掲載。
公共建築工事の積算業務に携わる方々必携の書!参考歩掛り並びに関係通達も収録。

令和5年版

建築数量積算基準・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3497 ◎A4判

定価5,280円(税込)

新たに「木造建築」の数量積算規定を加え、参考資料の「鉄筋参考表」と
「鉄骨参考表(溶接延長換算表)」を刷新した最新版。

令和5年版

建築工事内訳書標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3498 ◎A4判

定価5,610円(税込)

新たに追加された「木造建築」の内訳書式を含め、内訳書標準書式の構成、内容及び記載例を掲載し詳細に解説。

令和5年基準

公共建築工事積算基準の解説 建築工事編

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3547 ◎B5判

定価11,550円(税込)

「公共建築工事標準単価積算基準(建築工事)」、「公共建築工事共通費積算基準」等の
最新の情報を基に運用に役立つ基本的な考え方と単価作成例を詳細に解説。

令和5年基準

公共建築工事積算基準の解説 設備工事編

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所 ◎図書コード3548 ◎B5判

定価12,100円(税込)

「公共建築工事標準単価積算基準(電気設備工事)(機械設備工事)」、「公共建築工事共通費積算基準」等の
最新の情報を基に運用に役立つ基本的な考え方と単価作成例を詳細に解説。



株式会社 大成出版社

<https://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11